

令和6年の賃金、労働時間及びパートタイム労働者比率の 前年比の算定に用いる令和5年の参考値について

毎月勤労統計調査については、令和6年1月分結果確報において、集計に用いる母集団労働者数の推計値と実績（全数調査である「経済センサス基礎調査」の結果）との乖離を是正するために、母集団労働者数の更新（ベンチマーク更新）を実施しました。ベンチマーク更新を実施した年の賃金、労働時間及びパートタイム労働者比率の前年比については、ベンチマーク更新の影響を取り除いた前年比とするため、比較対象となる前年の値もベンチマーク更新を実施した値（参考値）を用いて算出しています。

参考値の作成方法は、以下の通りです。なお、全国調査において作成する参考値については、以下の通りで、準備ができ次第順次更新していく予定です。

○月次（半期・四半期を含む）

- ・参考値である令和5年1月～12月における各月の実数原表を掲載するとともに、各月の指数原表を掲載します。なお、半期の指数、四半期の指数は該当する各月の指数原表に掲載します。

○年次

- ・参考値である令和5年1月～12月を元に作成した令和5年平均の実数原表を掲載するとともに、年平均の指数を掲載します。

○年度次

- ・公表数値である令和4年4月～12月と参考値である令和5年1月～3月を元に作成した令和4年度平均の実数原表を掲載するとともに、年度平均の指数を掲載します。
- ・参考値である令和5年4月～12月と公表数値である令和6年1月～3月を元に作成した令和5年度平均の実数原表を掲載するとともに、年度平均の指数を掲載します。

○夏期賞与

- ・参考値作成のために用いた母集団労働者数を元に作成した令和5年夏期賞与の事業所規模別結果表を掲載します。

○年末賞与

- ・参考値作成のために用いた母集団労働者数を元に作成した令和5年年末賞与の事業所規模別結果表を掲載します。

1. 全国調査

令和5年1月分においてベンチマーク更新を実施した母集団労働者数を作成し、令和5年の集計当時の調査票データ等を用いて順次毎月の集計を行っていくことにより作成した。

なお、ベンチマーク更新後の母集団労働者数は、産業・規模別に次式により作成した。

「ベンチマーク更新後の母集団労働者数」

＝「ベンチマーク更新前の母集団労働者数」×「補正比」

「補正比」

＝「ベンチマークとなる経済センサスの常用雇用者数」／「ベンチマークとなる経済センサスと同一時点の毎月勤労統計調査の母集団労働者数」

※ 補正比の分母が「0」となり補正比が算出できない場合や補正比が過大となり上記による算出が不適当な場合等には、経済センサス等を用いて別途「ベンチマーク更新後の母集団労働者数」を設定する場合がある。

2. 地方調査

全国調査と同様に令和5年1月分においてベンチマーク更新を実施した母集団労働者数を作成し、各都道府県の令和5年の調査結果を用いて、以下の通り作成した。

① 常用労働者数

産業・規模別に、令和5年1月分の集計に用いた母集団労働者数と、令和5年1月分においてベンチマーク更新を実施した母集団労働者数の比を、令和5年1月分結果の常用労働者数（前月末、増加、減少、本月末）に乗じて作成した。

令和5年2月以降については、現行の方法と同様に「当月の前末労働者数」＝「先月の本末労働者数」となるように作成した。

② 現金給与額、労働時間数、出勤日数

産業・規模別でみた平均値は、ベンチマーク更新による影響を受けないため、令和5年の公表値そのままとし、産業計及び規模計の平均値は、①で作成した前月末労働者数と本月末労働者数の平均をウェイトとして加重平均により作成した。